



H29.1.10(水)

あけましておめでとうございます

元気な笑顔で登園してきた子どもたちに会って、お正月の間、お家の方々と楽しく過ごしたことがうかがえました。

保育室でも元気に走ったり、探索活動を始めたりする子どもたちの姿を見て、今年も子どもたちがのびのびと好奇心いっぱいに過ごすことができるよう保護者の皆さんと一緒に支えていきたいと思いました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

「初めてのサンタクロースさん☆」

12月25日(月)子どもたちがすずを手に赤鼻のトナカイを歌っていると、サンタクロースがやってきました。子どもたちは驚いたり、不安そうな表情をして保育士の傍によっていきました。泣いている子どももいましたが、サンタさんが「プレゼントもって来たよ。どうぞ。」と渡すとちゃんと手を出して受け取つて、サンタさんと写真も撮りました。



「自分で食べてるよ♪」

離乳食から幼児食に移行した子どもたちが増えました。そしてベビーチェアで食べていましたが、テーブルで食べるようになりました。お兄ちゃん、お姉ちゃんになったという、ちょっと誇らしくてうれしい気持ちがあふれる表情でテーブルに座っています。

また手づかみやスプーンで食べることが上手になっています。一口サイズのおにぎりを作ると自分でつまんで食べたり、コップを自分で持って飲んだり、スプーンですくったりできるようになりました。しかし、まだ難しくてこぼしたり、洋服が汚れたりします。自分でしているうちに経験を重ねながら徐々に上手になっていくことを実感しています。子どもたちが“自分で食べたい”という意欲を大切にして支えています。





平成30年1月10日(水)発行

あけましておめでとうございます

年末年始のお休みが終わり、元気な子ども達の声で、新しい年がスタートしました。少しふくらとした頬と子ども達の笑顔に、楽しかったお正月の様子が目に浮かんできます。早いもので、今年度も残すところ3ヶ月となりました。これから進級に向けて、一人ひとりとの関わりを大切にし、充実した日々を過ごしていきたいと思います。

ありがとう

保育士がお食事の配膳をしている時「どうぞ」と言うと「ありがとう」と自然に言えるようになった子どもたち。すみれぐみのお部屋には“ありがとう”的花“があちらこちらで咲きはじめています。心の育ちが感じられ、嬉しくなると同時に、改めて素敵なお言葉だと子ども達から気づかせてもらいました。



サンタさんがきたよ

クリスマスにみんなで“あわてんぼう”的サンタクロース“の歌を歌っていると、お部屋にサンタクロースが…。子ども達は、動きが止まりじっと見ていました。サンタクロースの優しい声を聞くと傍へ行き、プレゼントをもらっていましたよ。



小さな先生



最近保育士の真似をして、「あなたの名前は?」と歌いながら組み立てたブロックをマイクに見立て、お友だちや保育士の口元に運んでいます。名前を聞かれると…「N・はなの です」と応えたり「I・ひろかです」とお母さんの名前も応えて、「ママの名前～」と嬉しそうにしている子ども達です。

お願い



衣服や布パンツの記名がなく迷子になってしまうことがあります。記名が薄くなっている衣服もあるので、確認をお願いします。

すみれぐみ担任・中村、有菌、萩尾、船石



10号

ちゅうりっぷだより

H30.1.11 (木)

明けましておめでとうございます！

年末年始のお休みが終わり、元気に登園してきた子どもたちの声で新しい年への始動のスイッチが入った保育園の中が“パッ！”と明るくなりました。「おばあちゃんの家にいった」「車に乗ってね、おでかけした」など、子どもたちはお休み中のことを笑顔で話してくれました。

保育園の木々たちもこの寒さの中、新芽を膨らませています。その木々のように、子どもたちも蓄えてきた育ちの力を発揮する保育の4期です。4月の進級時には、どんな成長を見せててくれるでしょうか？子どもたちの日々の成長を、一人ひとりの姿を見つめながら、保護者の方々と共に支えていきたいと思います。



「おやつの時間に…」

誕生日がきて3歳になった子や、もうすぐ3歳になる子など、進級した当時に比べると子どもたちも随分と成長し、最近はどの子どもも、いろいろな言葉をつかって伝えようとする姿が多くなってきました。

ある日、おやつの用意をしているときのことです。子どもたちの前でおやつを配り牛乳を入れていると、コップから少しこぼれてしまいました。それに気づいたひなた君は、「こぼれたよ」と言うとすぐに台ふきを取りにいき、同じテーブルのお友だちに「拭くまで待っててね」と言いながら、こぼれた牛乳を拭いてくれました。「ありがとうございます」と保育士がお礼を言うと「どういたしまして」と返事が返ってきて、おやつを食べながら、「拭くの上手やった？」と、少し照れた表情のひなた君でした。

家庭や園などで、たくさんの大人や、色々な言葉に触れながら生活している子どもたち。そんな子どもたちの姿や言葉を聞いていると、「どこかで聞いたことがあるな」とハッキリし、普段からアンテナをたくさん広げていることを実感します。そして、「いろんなことを知りたい！したい！」と、たくさんのことや情報を吸収しようとしている子どもたちです。その子どもたちの姿やつぶやきに、温かい気持ちになったり、笑ったりしてしまうことがあったりして、そんな子どもたちに支えられて保育士自身も育っていることを痛感します。



<おすすめ絵本>

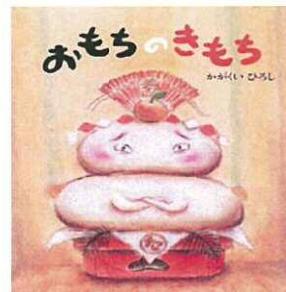
おもちの きもち 作：かがくい ひろし 出版社：講談社

タイトル通り、おもち（鏡餅）がおもちの気持ちを話す物語です。

他のおもちが食べられていく姿を見て、鏡餅は家から飛び出します。

おもちの脱走場面は、子どもたちも大笑いします。おもちだったらこんな動きするだろうなという動きの絵で、ページをめくるごとに奇想天外なお話です。

お正月時期でなくても楽しく読める絵本です。



ちゅうりっぷ組：唐木・桑原



H30.1.10 (火)

あけましておめでとうございます

年末年始のお休みが明けて、久しぶりに登園してきた子どもたちに「元気だった？」と尋ねると、うれしそうな笑顔で、「うん！」と、笑顔で返事が返ってきました。

お休みの間に楽しい思い出がたくさんできたようで、子どもたちは次々に「神社に行って御守り買ったよ」「公園で遊んだよ」など、色々なお話を聞かせてくれました。何よりも、子どもたちが大きなケガや病気をすることなく、元気に過ごせていたことをとても嬉しく思いました。



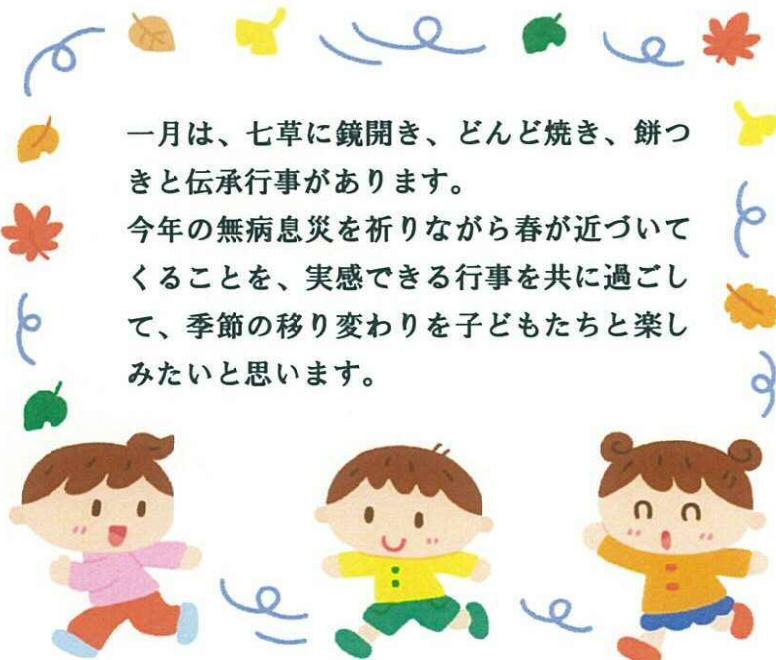
◎お正月あそびにふれて

年長児クラスが、あやとりやお手玉遊びをしているのを見て、「すごいね」「どうやってするの」と興味を示して「やってみたい」と思って仲間に入れてもらったり、保育士と一緒にやってみたりしながら、繰り返し遊びが楽しめるようにと、かるたや絵合わせ、凧揚げなど3歳から4歳に向かう子どもたちが楽しめるような伝承遊びの工夫を考えています。



◎言葉の表現が豊かになっていくように

生活発表会を経験して、子どもたちは友だちや保育士に自分の思いを話そうとすることが多くなってきました。クリスマス会に参加してサンタクロースの話をしたり、年末年始の出来事の話を聞くと、子どもたちは、豊かな発想や、夢いっぱい、ユーモア一いっぱいに話しかけてきます。お互いに話を聞いているだけで場面が想像でき、楽しさが伝わるのか、子どもの表情も豊かで、和やかな雰囲気が流れました。友だちの話しに興味をもち、共感することで会話が膨らみ、話が楽しめるような育ちの仲間作りを支えていきたいと思います。



～おすすめ絵本～

元旦の朝、神様の家の前にきたものに1年ずつ年をやるときいた動物たちは大はりきり。うしの背にのって一番乗りをしたねずみや、道中けんかばかりの犬とさるなど、個性あふれる動物たちを描いた絵本です。



こすもす組担任：崎野・河内

ひまわりだより



H30. 01. 10 (水)



あけましておめでとうございます!!

久しぶりに友だちや保育士と顔を合わせた子どもたちは「あけましておめでとうございます。」と元気に挨拶をかわしたり、「保育園に早く行きたかった。」とうれしい声も聞かれました。「おもちつきをしたよ。」「神社に行って、おみくじを引いたよ。」いろんな話のなかで楽しさが伝わり、家族そろって過ごす時間の中で、子どもたちはいつもとは違った雰囲気を味わえたのではないかでしょうか。

ひまわり組での生活も残り3か月になりました。「もうすぐたんぽ組になるんよね。」と進級することを楽しみにしています。自分の意志を持ち、自分の言葉で話したり考え行動したりする子どもたち。今後一人ひとりの育ちを保育士が援助し、視野を広げ育てていきたいと思います。今年もよろしくお願ひします。



みてみて!!

遊戯室に行くとカプラで遊んでいた、翔くん、凜ちゃん、憲弥くん。カプラを丸く並べその上にどんどん積み重ねていくと高くなり、手が届かなくなっていました。すると、3人で話し合い椅子やゲームボックスを抱え、その上に乗って壊れないよう注意し作っていました。するとカプラの高さに気づいた周りの友だちは「すごいね」「カプラもってくるね」と、カプラの塔作りに参加し始め、いつの間にかクラス皆が集まり塔の完成を手伝い始めました。自分たちの背丈以上の高さになった塔を見て「やったー！」と歓声が上がり、クラスが一つになった瞬間でした。

社会性が育ち、仲間と共に遊ぶ中で楽しく遊ぶ知恵が生まれ、その知恵が仲間との協働により、より楽しく遊びが発展していく集団の力を大きく感じた場面でした。



お知らせ

11日に、保育園でどんど焼きをします。

子どもたちが1年間元気に過ごせるようにお祈りします。

保育園の出入り口に箱を準備しておりますのでご自宅の正月飾りをお入れください。

4歳児担任：草場、今丸



たんぽぽだより



発行：平成30年1月10日（水）



あけましておめでとうございます

新年を迎える、「あけましておめでとうございます」という子どもたちの元気な声と温かい笑顔がたんぽぽぐみの部屋に溢れました。たんぽぽぐみは「年越しそば食べた?」「私は初詣に行ったよ!」「お祖母ちゃんのところに行ってね…」とお休み中の楽しかった話に花を咲かせていました。

今年度も残り3ヶ月となり、シール帳やカレンダーを見ては「もう少しで卒園だね。」と残り少ない園生活に名残惜しさを感じているようですが、「ランドセル届いたよ!」「小学校に行くの楽しみ!」「どんなお勉強するのかな?」と期待で胸を膨らませている子どもたちです。

子どもたちが今まで蓄えていた力を更に發揮する保育の4期、小学校入学に向って最後の総仕上げの日々です。自信を持った一年生として、目標に向って進んでいけるに支えていきたいと思います。



伝承遊び

コマ回し、カルタ、羽根つき、福笑いなど、どの遊びにも興味津々で、この時期ならではの遊びに胸を弾ませている子どもたち。特にコマ回しは初めて経験する子どもがほとんどで、「どうしたら上手くコマに紐が巻けるだろう」「早く回せるようになって、コマ回しの名人になろう!」と上手くできない悔しさに表情を曇らせ苦戦しながらも、何度もコマに紐を巻き付け、練習をしています。その他にも、福笑いや凧、コマなどの制作をしています。たんぽぽぐみの夢やアイデアの詰まったお正月遊びが出来上がりそうです。昔から代々受け継がれているお正月遊びや伝承遊びを楽しんで経験してほしいと思います。



書き初め

2018年にやりたいことやどんな人になりたいかを子どもたちと話しました。昔はお正月には、自分の目標や決意を書き初めとしていました。子どもたちもこのしきたりに挑戦しています。習字は、鉛筆と違って書き直すことができないので、筆を手にすると緊張した表情を浮かべる子どもたちですが、集中して一文字ずつ力強く書いています。